

聖 せいあい 愛

VOL.44

2011. 8. 10
発行

ケアマンション聖愛ホーム

〒871-0162 大分県中津市大字永添2744
TEL 0979-23-2255 FAX 0979-23-2250



社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
いずみの園

5月



わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。(ヨハネの手紙一4章16節)

4月



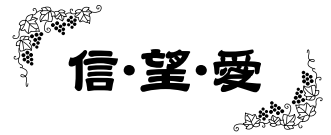
7月



6月



2010年度 事業報告



●入居者の状況 (2011年3月31日現在)

1. 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者数	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	6人
退居者数	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4人

2. 年齢構成と平均年齢

性別	人数	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	7	1	2	4	0	0	68	89	80
女性	43	2	10	21	10	0	62	97	83
計	50	3	12	25	10	0			82

3. 在居者入居年度別実績

年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	合計	平均
現入居者数	7	0	1	1	1	4	1	1	1	3	4	4	8	5	3	6	50	6.3年

4. 介護認定取得者数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	7	5	2	5	0	0	0	19

●会計報告 (2010年4月～2011年3月)

紙面の都合上一部のみの掲載となりますが、その他の決算書及び詳細については、法人本部にて閲覧できます。

(単位：円)

貸 方		借 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常活動による収入	89,247,703	経常活動による支出	71,116,501
施設整備等による収入	0	施設整備等による支出	833,240
財務活動による収入	6,497,917	財務活動による支出	21,497,917
		当期資金収支差額	2,297,962
合 計	95,745,620	合 計	95,745,620

●各委員会活動

防災委員会、感染防止委員会、
経費節減委員会、マナー向上委員会、
研修委員会、ISO推進委員会

◆ISO推進委員会の取り組み

ISO9001：2008とは？

国際標準化機構（ISO）にて1987年に制定された品質管理システムの国際規格です。製品そのものではなく品質管理体制を規定するための規格です。

聖愛ホームにあてはめてみると

- 施設の組織・体制を整備し責任・権限を明確にする
- サービスの手順・ルール・基準を決める
- 決めたとおり忠実に確実に実施する
- サービス実施の証拠として記録を残す
- 内部監査をして是正・改善する

毎年、認証機関の厳しい審査を受けています。
今年度も4月に継続審査を無事クリアしました。

お客様に満足・感動・安心・信頼していただくために、きちんと仕事をする。施設（経営）も良くなります。



◆経費節減委員会の取り組み

「計画停電」が流行語になりそうな今年度は、「節電」に重点的に取り組んでいます。

職員間で話し合い、効率化への感度を高めて実践しています。
毎日メーターを測定し、数字で効果を把握します。
入居の皆様にもできる範囲でご協力をお願いしました。

東日本大震災復興ポロシャツ

聖愛ホーム職員は、真夏の制服として復興支援のポロシャツを着用することにしました。左胸には「がんばろう!!日本」のロゴ入りです。これは売上金の一部が復興支援義援金として被災地に送金されます。被災地の皆さんに1日でも早く震災前の生活が戻りますように!



義援金のご協力有難うございました。各機関を通じて被災地へお送りしました事をご報告いたします。

大分合同新聞社を通じて、日本赤十字 ¥108,000—
岩手県 宮古教会を通じて ¥100,000—
合計 ¥208,000—

絆は続く

創作活動

「皆さんが喜んでくれるとうれしいので、自分に出来ることをしています。折り紙はコツコツ折っていたら、上手に折れるようになったので皆さんにプレゼントしました。水栽培は容器にビー玉を入れてカラフルにしました。出来ることに工夫して、人を驚かせることが好きです。」



四熊フサ様 最高齢の日常



自分のことは最後まで自分で責任を持ちたいとの思いで入居されました。入居して約11年経ちます。大正2年生まれで98歳、聖愛ホームの最高齢です。

聖愛ホームの生活について一言お願いします。

「聖愛ホームは一つ屋根の下の一家だと思っています。皆さんの心づかい、優しさがうれしいです。これから出来ないことが増えていくと思うので、頼りますからよろしくね。」

●職員より一言

いつも穏やかな笑顔の四熊様、動きはゆっくりですが、生活に必要なことはすべて自立して行っておられます。その上心づかいを忘れず、私たちはどれだけ癒されていることが…。仕事上どんなに気を使っても、人生と共に積み上げてきた気配りにはかないません。

自己管理

「入居する時に“ここでの生活は自己管理が大切です。”と言われたことが心に残っています。快眠、快食、快便に努めて健康に気をつけ、体操や行事に参加して皆さんと交流しています。」



聖愛ホームで輝いて



高齢化が進む現在、様々な形態の施設が高齢の方々の生活を支えています。聖愛ホームは社会福祉法に定める第一種社会福祉事業で「軽費老人ホーム（ケアハウス）」という公的な高齢者福祉施設です。ケアハウスの利点は、

- ①所得に応じた低額の利用料で、食事、入浴サービスの提供がある
- ②安心して自由な生活ができて、困った時には、相談に乗る専門スタッフが配置されている
- ③施設内で介護保険の居宅サービスが受けられる等々です。

この利点を生かして、聖愛ホームを生活の拠点として、人生の後半を迎えても活動の場を狭めることなく充実した日々を送っておられる方がたくさんいます。その中からお二人の方にお話をうかがいました。



旅

「この1年間でスペイン、台湾、アメリカ中西部、南北イタリアに行きました。旅の魅力はその土地の風景を見て、その地になければ感じられない感覚を感じることです。美しさの感動がある一方で、世界中で黄砂現象が見られるなど、地球はこわれているなあと感じることもあります。また人との出会いも楽しいです。とにかく旅は私の生きがいです。」



中野佐代子様 3本の柱が支える生活

調理師として博多などで60歳まで働いた後、生まれ育った故郷で自分らしく生活したい、という思いで入居されました。約5年たち、今年喜寿（77歳）を迎えられた中野様の生活3本柱とは…。

学ぶ

「今はパソコン教室に通っています。覚えたことをすぐ忘れて遅い歩みですが楽しいです。パスディカードや年賀状を作ったり、デジカメ写真をプリントしたり、友人とメールをしたり出来るようになり、生活が便利になりました。これからは写真教室に行って撮影技術の腕をみがく予定です。」



聖愛ホームの生活について一言お願いします。

「聖愛ホームにしていると食事、入浴などのサービスが提供されるので、自分の興味のあることに集中することが出来ます。毎日接する中で職員の皆さんと信頼関係を築くことができ、安心して外出をすることもできます。これからも健康に気をつけて、前向きに生きていきたいです。」

●職員より一言

充実した生活から伺えるように、とても若々しく自立しておられます。厳しい意見や、鋭い提案で職員に初心に帰る緊張感を与えて下さる方でもあります。それだけに「職員との信頼関係」という一言をとてもうれしく感じました。

健康

「体調管理にはとても気を使っています。早朝のストレッチとウォーキングで体力維持に努めています。腰痛、ひざ痛など人並みにありますが、良い病院、医師がいれば遠くでも受診して、状態を悪くしないように気をつけています。人間ドックはオーダーして、気になるところは早期発見できるようにしています。また、提供される食事は毎回楽しみです。時には自分の好みや体調にあわせてものを自分で作って食べられるのは、気持ちの上でも健康的になります。」



外食ドライブ・スロー

毎日の食事は聖愛ホームでの生活の大きな楽しみの一つですが、何歳になっても外に出てお店で食事をするのはワクワクしてうれしいものです。今、中津で大人気の回転寿司スローに行って、現在のお寿司屋さん事情を体験しました。タッチパネル注文も慣れてくるとお手のもの。おいしくて安くて大満足していただきました。



プラム採り 7月21日



先日、入居者のみなさんと敷地内にあるプラムを収穫しました。入居者の皆さんと職員で協力して大いに汗をかいてがんばりました。その甲斐あって収穫量は何と180kg!皆さんで分け切ることが出来ない量でした。

中山忠彦画伯聖愛ホームに来訪される!

6月15日



「ただひこちゃん、と呼んで一緒に遊んでいたお兄さんの存在だった。」毎年、夫人を描いた年賀状を頂いているが、会うことが出来て本当にうれしかった。……とは面会をした入居者のことばです。懐かしい思い出がよみがえる、かけがえのないひと時でした。

洋画家で日展理事長でもある中山忠彦さんが、母校三保小学校で、後輩児童に絵画指導を行うために帰郷された折り、聖愛ホームを訪れ、故郷の市内三保で幼い日を共に過ごされたご友人とご面会をなさいました。

日本画壇を代表する中山画伯は、優しくて気さくな紳士で、久しぶりの再会のために大きな花束を贈られていました。

文化講演会

昨年度は薦神社などの歴史遺産をテーマに、地域の由来、伝説など講演をいただきとても興味深い話でした。

- 第1回『薦神社と神の池』
- 第2回『宇佐神宮と校区に残る和気清麻呂伝説』
- 第3回『賀来家と源義経伝説』

講師

大幡公民館 郷土史教室
秋吉 秀康 様



今年度は日本の近代史、旧軍の遺産を訪ねてをテーマに、戦時中、永添一帯に陸軍の要請で建設された神戸製鋼中津工場についての講演『かつて私たちの周りは軍需工場でした』を拝聴し講演後、皆さんの戦中戦後の記憶が呼び起こされ、質問が相次ぎました。



今後の予定

- 第2回『麻生谷再見』(8月25日) 東郷平八郎直筆の掛軸と麻生凱旋門
- 第3回『東郷神社(津屋崎町)に参拝して』(10月頃)
安部正弘という1人の明治人が建立した東郷神社

地域の皆様に感謝

- 4月28日 マジックショー 中津マジックの会
- 5月29日 中津古典音楽合奏団ふれあいコンサート
- 6月30日 小島グループ 日本舞踊

ホール作品展

- 4月「彫ちよる会」の皆様による「多色刷りの版画の作品展」
- 5月 服部重子様による「つまみ絵作品展」
- 6月 工家丘予人様による「切り絵作品展」
- 7月 柏水墨画会(伊東南章先生)による「水墨画作品展」

健康教室

- 4月21日 春を訪ねて出かけよう
- 5月26日 認知症予防システム「アタマ倶楽部」
- 6月6日 お口の健康管理について
- 7月25日 熱中症予防について

ご協力有り難うございました。



第13回 いずみの園フェスタのご案内

10月22日(土) 10時～ 場所:いずみの園

ステージショーやイベント盛りだくさん!

- 喫茶コーナー ●入居者作品展
- バザーコーナー

お問い合わせ ☎0979-23-2255

聖愛ホームでお待ちしています!



東日本大震災の苦難が今も続いている。自分の命は助かっても多く、ものを失い、生活が一変した被災者の方々、その中でも日常の生活に戻る懸命な努力が続けられている。決して忘れないと誓った私たちはどうだろうか? 変らない日常の中で、いつの間にか意識も薄れ、忘れてしまっていることに気付かされるのではないだろうか。そんな私たちの本質的な無関心、無神経さを、簡単に「がんばろう日本」などの他人事の言葉ですりかえてはいないだろうか。どこか後ろめたさを感じながら過ごす、昨年とささやかに違う節電の夏である。(袖)

あしがき

職員紹介

5月よりデイサービスふれあい館から移動しました。皆さん方のお名前とお顔がようやく一致した所です。教わる事ばかりですが「笑顔」での対応を心掛けたいと思っています。これからも宜しくお願いします。



介護員
中村香代子